

木曾三川を活用したより魅力あるまちづくりに向けて

平成29年9月27日

愛西市
木曾川下流河川事務所

愛西市観光協会によるインフラツアー

- インフラそのものが地域固有の観光資源として注目される中、全国各地でインフラを対象とした様々なツアーが実施されている。
- 木曾三川においても、愛西市観光協会により、木曾川、長良川を周遊し、かつ歴史的土木構造物である船頭平閘門を観光船で見学できる「木曾川観光船」が運行されている。

インフラツーリズムとは

- インフラツーリズムとは、既存のインフラ(ダム、トンネル、公園等)や工事中の現場を観光資源とするもの。



木曾川観光船 (インフラツアー)

木曾川観光船 ガイド付き

運航期間 2017.3月25日(土)～11月19日(日)【土・日・祝運航】

船頭平閘門で木曾川と長良川の水位の違いを体験!!

愛西市を流れる木曾川を、ボラテニアガドの説明を聞きながら観光船で巡ります。葛木港を出発して愛知の小川(マ運河(船頭平閘門)(国指定重要文化財)で、川の水面の高さ調節を体験し長良川へ。そして岡ルートを通ります。ゆったりとした木曾川の流れや野鳥のさえずりなど、愛西市の自然を心ゆくまでお楽しみください。

運航案内

● 船頭平閘門 午前9時30分

● 乗客数 12名(大人)

● 料金 大人(中学生以上) 1,000円

● 予約方法 電話予約

完全予約制

● 乗客数 12名(大人)

● 料金 大人(中学生以上) 1,000円

● 予約方法 電話予約

● お弁当の予約ができます ●

● 当日予約も承ります ●

● 当日予約も承ります ●

愛西市観光協会 (本館2階) TEL 0567-55-9993

愛西市観光協会



船頭平閘門を通過する木曾川観光船

葛木港(葛木港)へのアクセスマップ



運航日	出発時間	午前9時30分
3月25日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
4月1日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
4月8日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
4月15日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
4月22日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
4月29日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
5月6日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
5月13日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
5月20日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
5月27日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
6月3日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
6月10日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
6月17日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
6月24日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
7月1日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
7月8日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
7月15日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
7月22日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
7月29日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
8月5日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
8月12日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
8月19日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
8月26日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
9月2日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
9月9日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
9月16日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
9月23日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
9月30日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
10月7日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
10月14日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
10月21日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
10月28日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
11月4日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
11月11日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
11月18日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
11月25日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
12月2日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
12月9日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
12月16日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
12月23日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)
12月30日(土)	6:30(祝)	7:30(祝)

船頭平閘門

- 明治時代に作られた閘門で、現在も活躍する数少ない貴重な土木構造物。
- 平成12年、有形登録文化財に指定。



船頭平閘門周辺の歴史的インフラ

■ 船頭平閘門周辺には、数多くの歴史的な土木構造物が現存しており、より魅力あるまちづくりを行えるポテンシャルを秘めている。

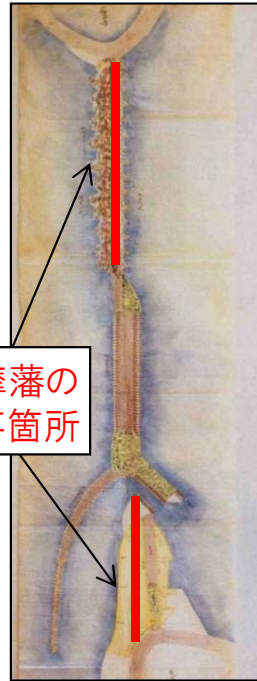
船頭平閘門周辺に位置する歴史的な土木構造物

油島締切堤（千本松原）

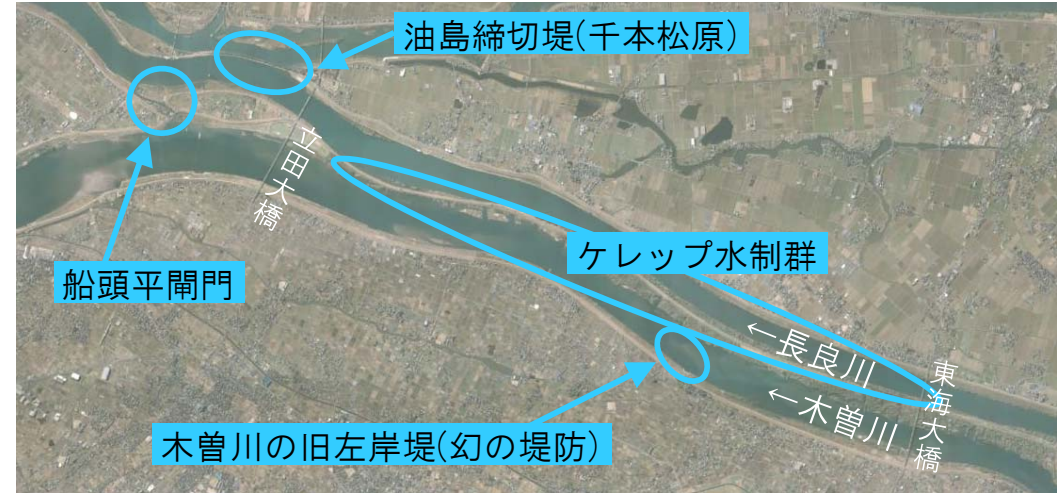
- 宝暦治水※において締切に着手。
- 薩摩藩士が千本の「日向松」の苗を植えたと伝えられている。
- 昭和15年、国の史跡に指定。
※江戸幕府が薩摩藩に命じた御手伝普請(1753年～1754年)



薩摩藩の
工事箇所

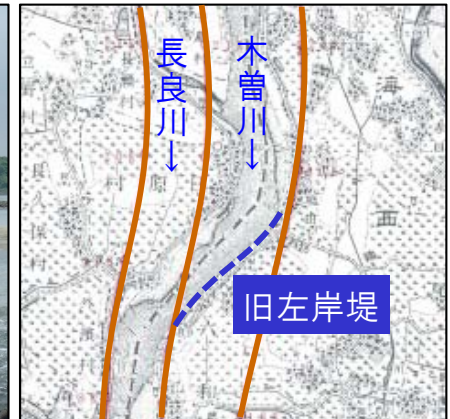


明和年間(1764～1771年)の油島喰違堰絵図



木曾川の旧左岸堤（幻の堤防）

- 明治改修(明治20年～45年)における三川分離により、新堤防が作られたことから、現在は水没する木曾川の旧左岸堤。
- 干潮時に姿を現す。



ケレップ水制群

- 河岸から川の中央に向かって突き出した突堤で、大部分が明治30年～32年に設置。
- 平成12年、土木学会選奨土木遺産に指定。



良好な自然環境の創出の必要性

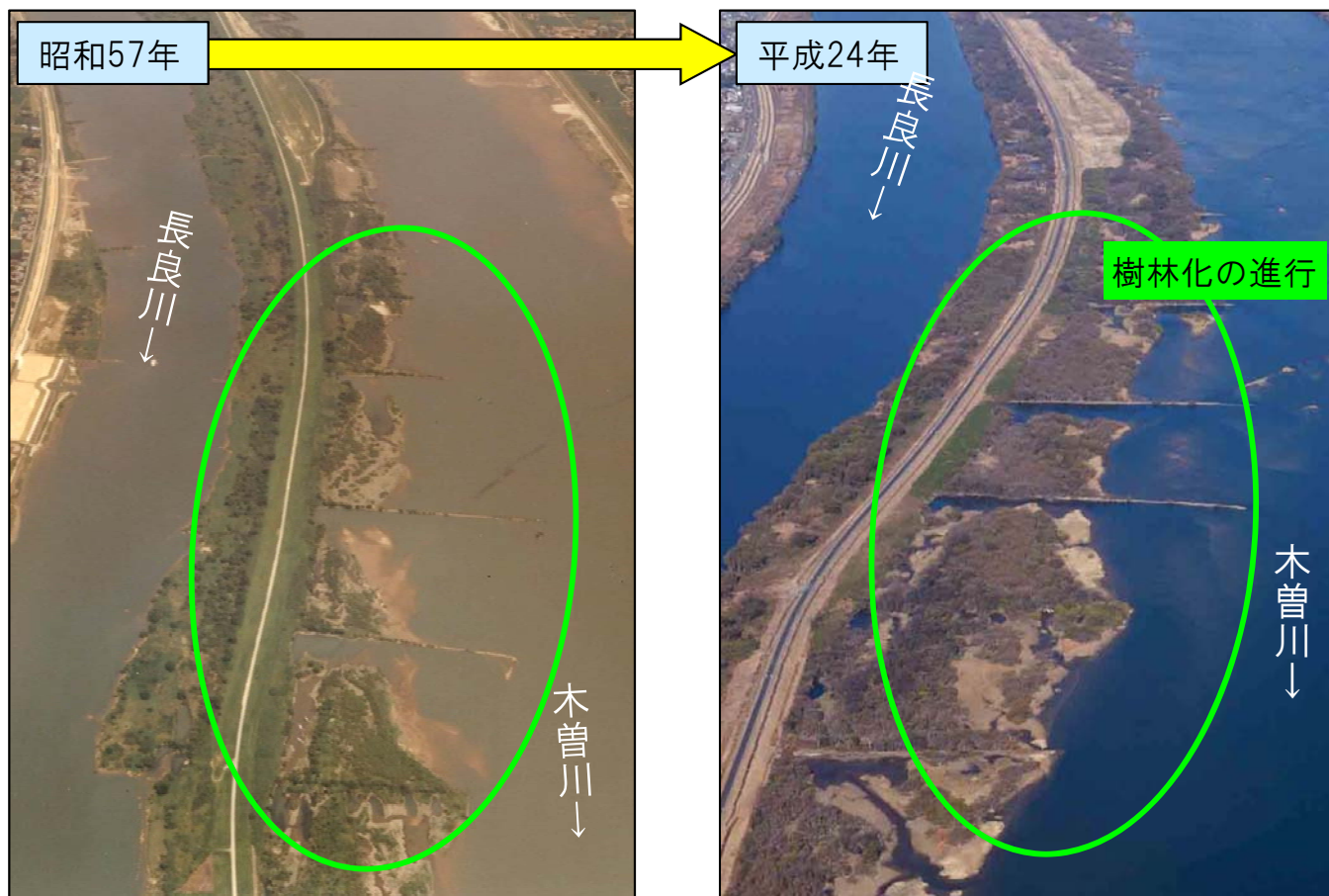
- ケレップ水制群には、良好なワンドが形成されていたが、近年、樹林化の進行によりワンドの湿地環境が悪化。
- ワンドの保全・再生により、良好な自然環境を創出することで、エコツアーとして、自然を体験し、自然環境の理解を深めるとともに、観光振興に貢献していくことができる可能性を秘めている。

ワンドとは

- 川とつながっているか、水が増えたときにつながってしまうような場所。
- さまざまな生き物のすみかとなっている。



ケレップ水制群の樹林化の進行



エコツーリズムとは

- エコツーリズムとは、自然を観光資源として、当該自然観光資源の保護に配慮しつつ、その知識を有する者から案内等を受けるもの。



出典：環境省ホームページ

かわまちづくりによる観光振興・地域活性化への貢献

■歴史的な土木構造物を有するこの地域において、かわまちづくり支援制度を活用し、自然環境の保全・再生とともに、地域と一体となってまちと水辺が融合した良好な空間形成を図っていくことで、観光振興や地域活性化に貢献していきたいと考えている。

魅力ある水辺空間の創出（かわまちづくり支援制度）

- 地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、実現性の高い水辺の整備・利用に係る取組みに対し、河川管理者が支援するもの。
- 河川管理者は、ソフト施策のほか、まちづくりと一体となった治水・水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備について支援可能。



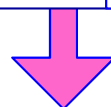
乙川リバーフロント地区かわまちづくり(岡崎市)

良好な自然環境の創出

- ケレップ水制群に点在するワンドの保全・再生を図ることで、良好な自然環境を創出する。
- なお、保全・再生したワンドの将来に向けた持続性を高めていくため、川と地域社会の関わりについて深めていく取組みを進めていく。



ケレップ水制群の
保全・再生イメージ

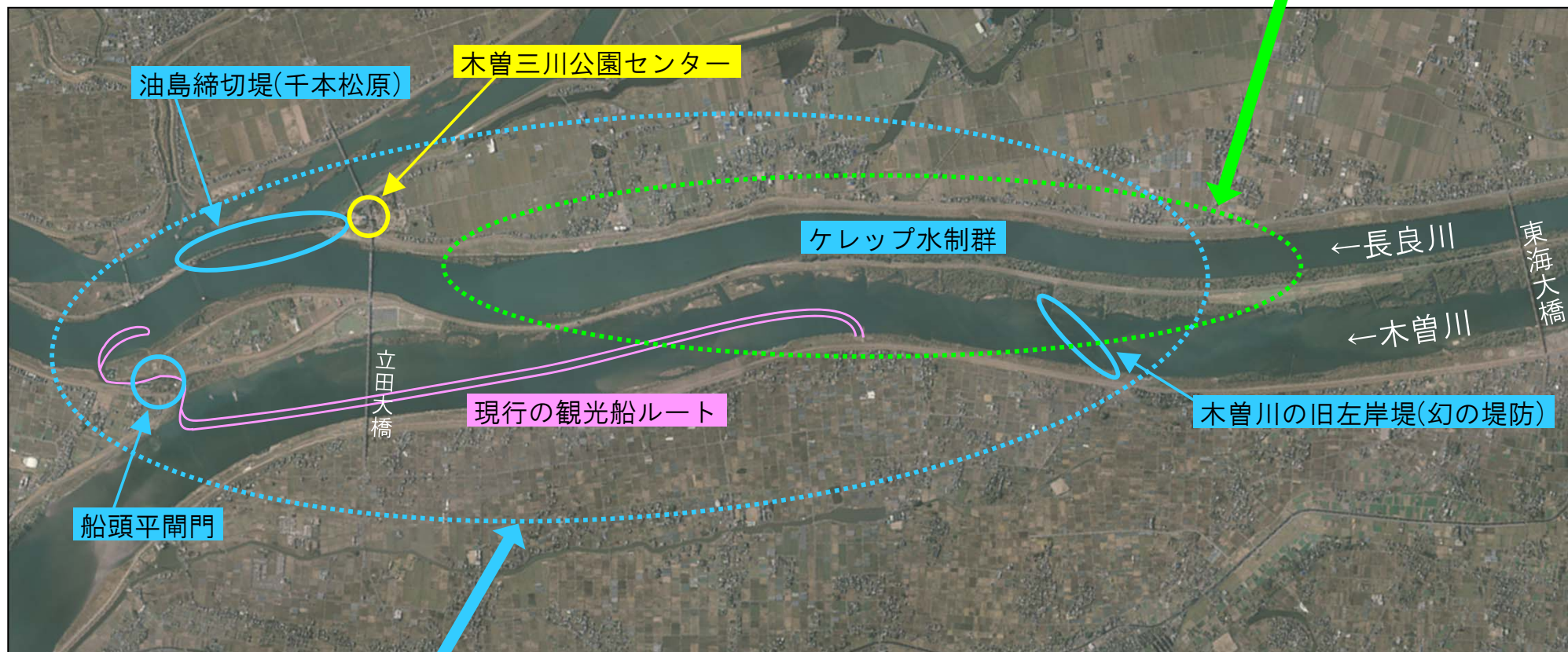


インフラツーリズム、エコツーリズムなどを通じ、観光振興・地域活性化に寄与

かわまちづくりによる観光振興・地域活性化への貢献

ケレップ水制群周辺における観光振興・地域活性化への貢献（イメージ）

ワンドの保全・再生+かわまちづくり
↓
「エコツーリズム」ゾーンに
↓
観光振興・地域活性化



かわまちづくり
↓
「インフラツーリズム」ゾーンに
↓
観光振興・地域活性化